

「つなぐ」研究

人文研で古今の中国美術をつないでゆくこと
(ウェブ公開版)

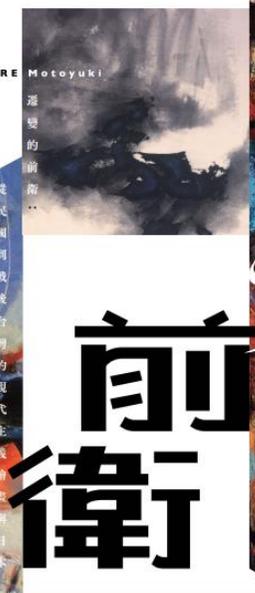
2025年4月25日

京都大学人文科学研究所准教授

呉 孟晋 (くれ・もとゆき)



呉孟晋
KURE Motoyuki



前衛

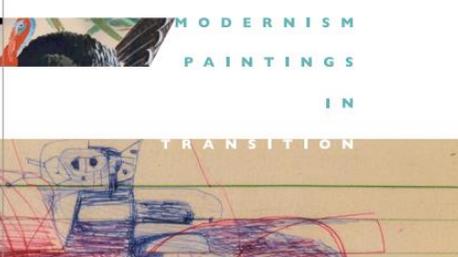


呉孟晋
KURE Motoyuki

移ろう前衛

ISBN978-4-8055-0980-7
C3070 ¥7000E
定価：本体7,700円(本体7,000円+税10%)

9784805509807
1923070070003



MODERNISM
PAINTINGS
IN
TRANSITION

中国、台湾、日本をめぐる
モダニズム美術の
近現代
中央公論美術出版

政治動向と不可分に展開してきた
20世紀の中国と台湾の現代美術に
おいて、日本とのかかわりも交えて
俯瞰的に通覧することで、ともす
れば一國主義中心に傾きがちな
美術史観ではとらえ
きれない美術作品と
美術運動について精緻に検証した、
東アジアの近現代美術史に新たな
視点をもたらす気鋭の論集。

東アジアをめぐる
「前衛」芸術家たちの
理想と現実
中央公論美術出版

移ろう前衛

近著：『移ろう前衛：中国から台湾への絵画のモダニズムと日本』中央公論美術出版、2024年2月
装幀：森華さん

20世紀の中国、台湾、日本の前衛絵画の「つながり」をみいだす
／理想と現実のあいだでの折り合い
／「危機」の時代の美術史

特別展覧会

京都国立博物館 開館120周年記念

Kyoto National Museum

120th Anniversary

Commemorative Special Exhibition

National Treasures

Masterpieces of Japan

報道資料

古と今をつなぐ

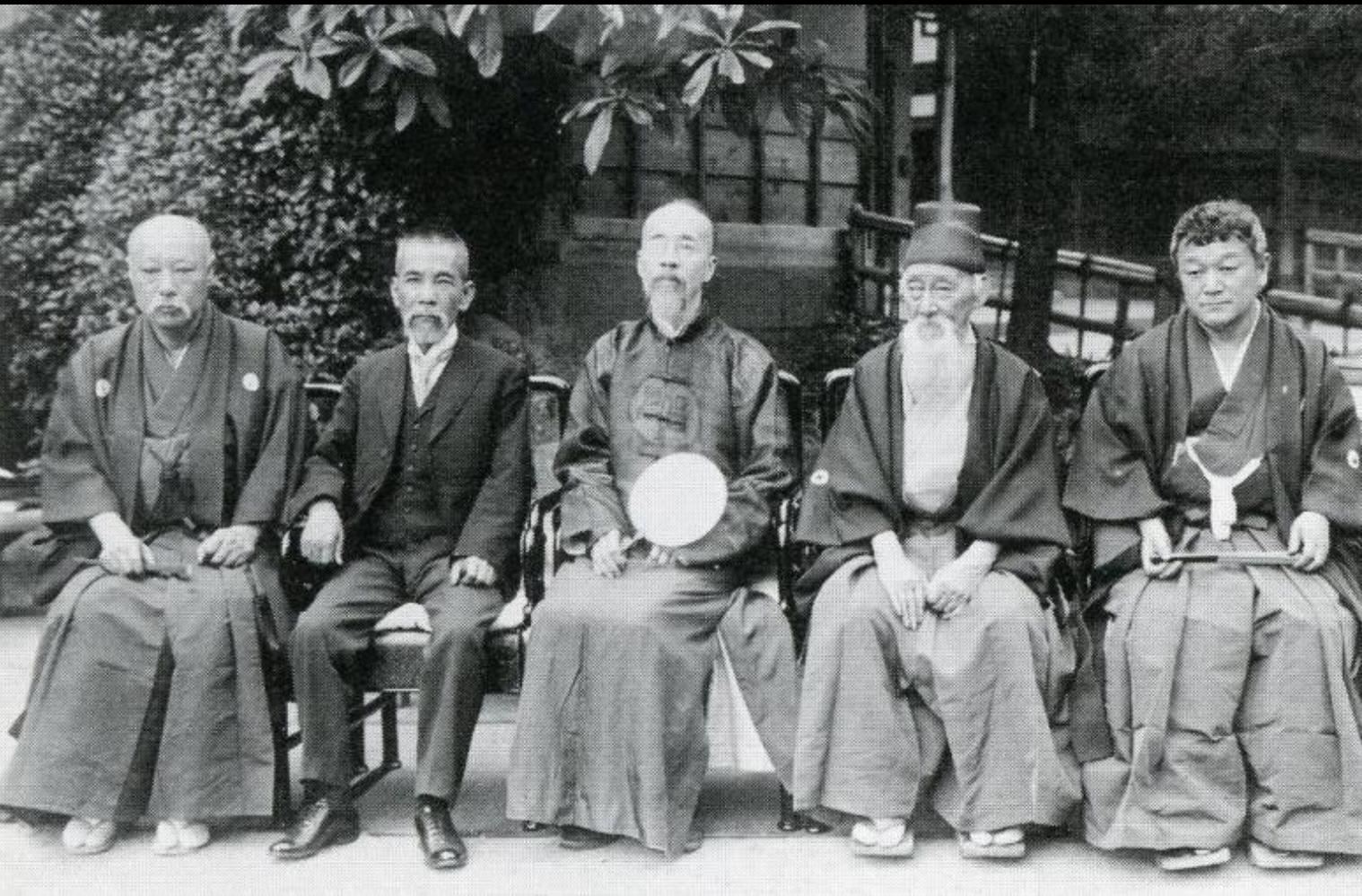
特別展覧会「国宝」 京都国立博物館

2017年10月3日-11月26日（前職で担当した展覧会のひとつ）

2017年は、日本の法令上「国宝」の語が初めて使用された「古社寺保存法」制定より120年にあたります。当館開館と軌を一にするこの節目の年に、昭和51年（1976）に「日本国宝展」を開催して以来、実に41年ぶりとなる「国宝展」を開催します。古より我々日本人は、外来文化を柔軟に取り入れつつ、独自の美意識によって世界にも類を見ない固有の文化を育んできました。歴史的、芸術的、学術的に特に優れ、稀少である国宝は、何よりも雄弁に我々の歴史や文化を物語る、類い希なる国の宝といえましょう。本展覧会では、絵画・書跡・彫刻・工芸・考古の各分野から、歴史と美を兼ね備えた国宝約200件を大きく4期に分けて展示し、わが国の悠久の歴史と美の精華を顕彰いたします。（展覧会紹介文より）

たとえば、近代から古を見通す

「無準師範（仏鑑禅師）像」（京都・東福寺蔵）の文化財指定をめぐって（明治30年（1897））：画よりも書を評価



羅振玉帰国送別会（1919年6月21日 京都・円山公園にて）
左から長尾雨山・犬養毅（木堂）・羅振玉・富岡鉄斎・内藤湖南
長尾雨山関係資料（京博保管）より

東アジア／近代／文化・芸術
を「つなぐ」研究へ

つながりがみえないものでも隠
れた文脈があるのでは

研究をつなぐためには.....
アーカイブとコレクション

整理について：
目録化、保存方法の検討

公開について：
図録出版、データベース、展覧会、
特別観覧

現在の課題：
「長尾雨山を核とした漢学と書画、
コレクションをつなぐ総合的研
究」（科研費（基盤B）2025-2029
年度）

人文研での共同研究班（参加している研究班）

テーマ1 文化基盤の形成

- ・ 東アジアの宗教美術と社会（稲本泰生班）
- ・ 中国社会経済制度の再定位（村上衛班）

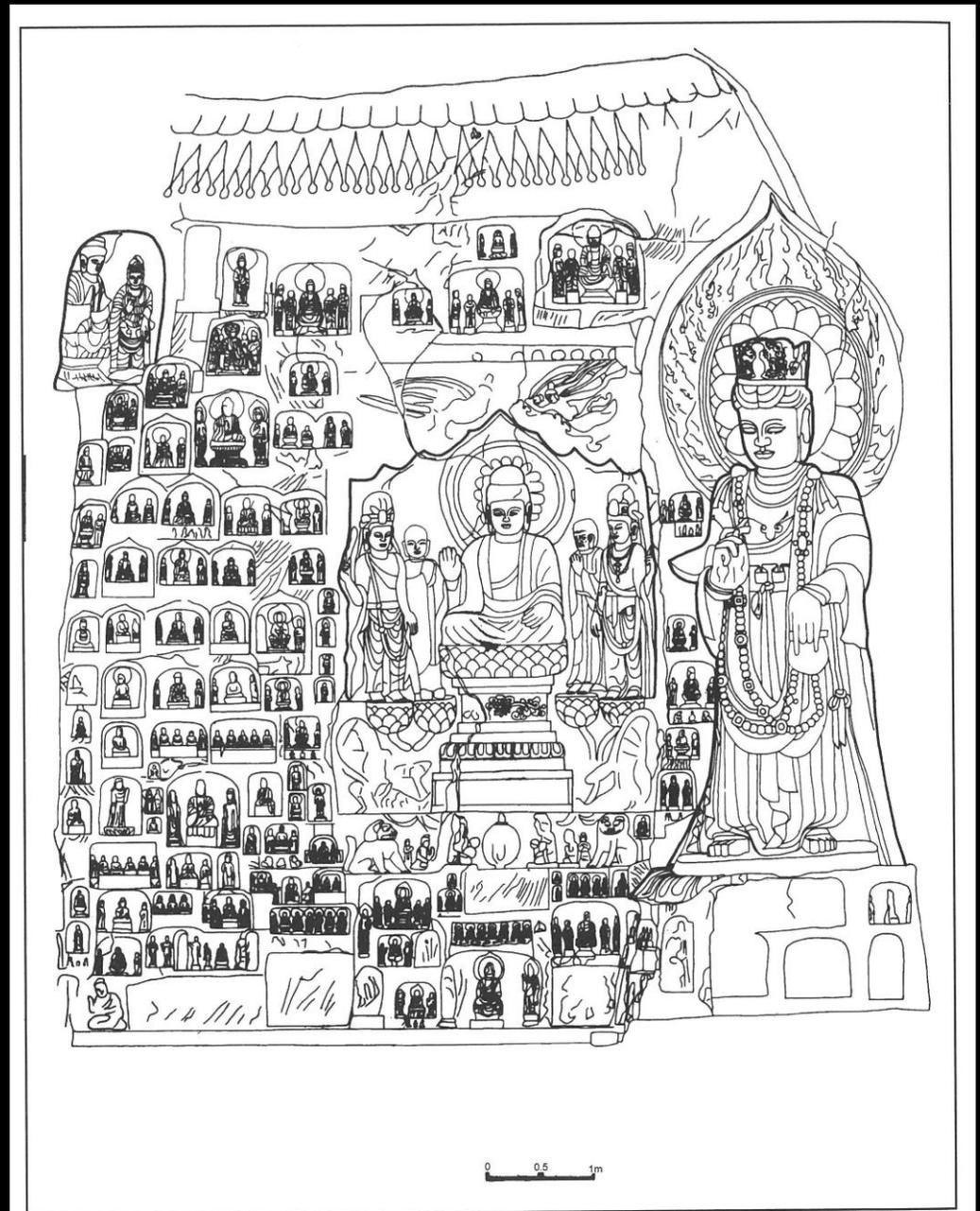
テーマ2 接触とコンフリクト

- ・ 中日の近代哲学・思想の交差とその実践（廖欽彬班）
- ・ 「異端」の人文学（石井美保・向井佑介班）

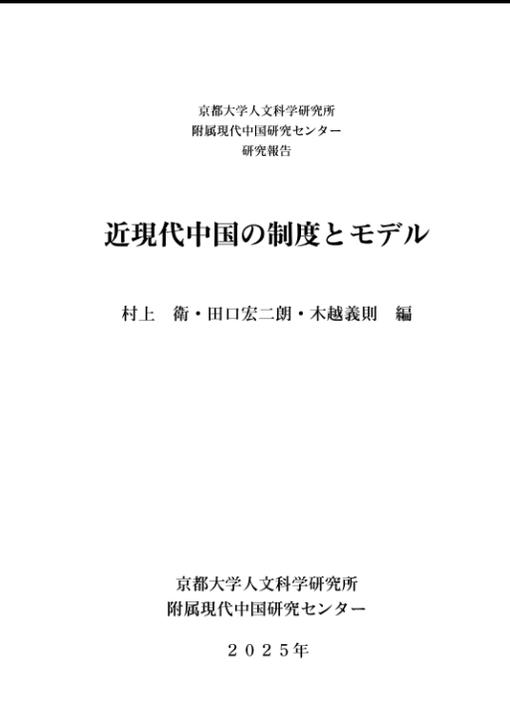
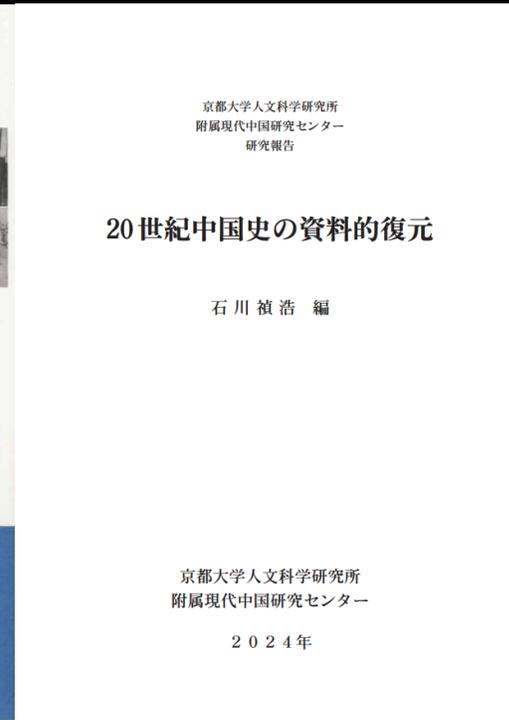
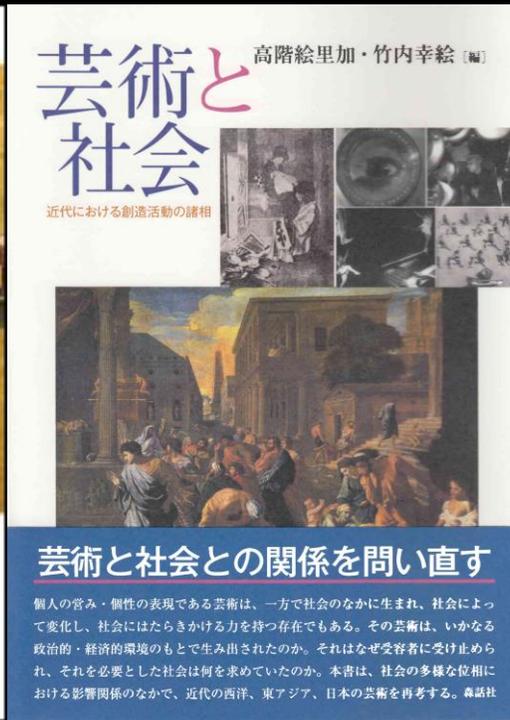
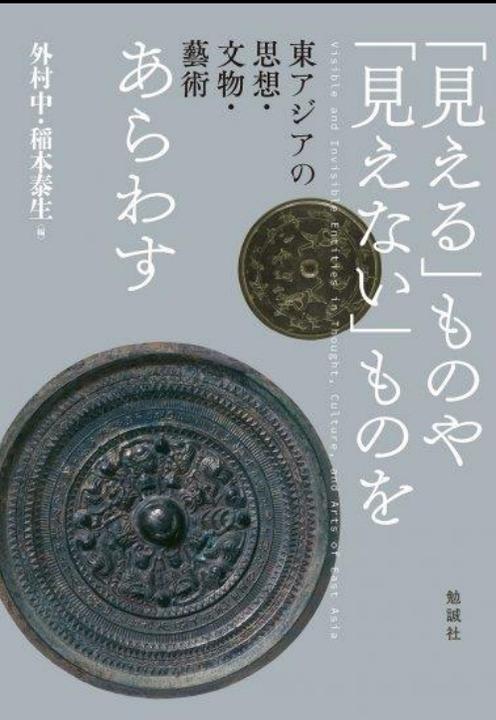
テーマ3 地球社会と共存

- ・ 情報と近現代中国（石川禎浩班）

龍門石窟見取り図のうち／劉景龍、楊超傑編『龍門石窟總錄』（中國大百科全書出版社、1999）より
（稲本班）



159 號龕(賓陽南洞)南壁立面圖



過去には以下の研究班に参加

外村中班（東方部）：「見えるもの」や「見えないもの」に関わる東アジアの文物や芸術についての学際的な研究（2019-2022）

／「蘇州片」（贋作）と「書斎図」：真作と贋作のあいだにある見えない「古」のつながりを問う

重田みち班（人文部）：「日本の伝統文化」を問い直す（2020-2023）

高階絵里加班（人文部）：芸術と社会—近代における創造活動の諸相—（2020-2023）

石川禎浩班（東方部）：20世紀中国史の資料的復元（2019-2023）

村上衛班（東方部）：近現代中国の制度とモデル（2019-2023）



重要文化財 花陽夕陽圖 惲壽平筆 中国・清時代 康熙10年（1671） 京都国立博物館蔵

<https://colbase.nich.go.jp/>

きたるべき共同研究班にむけて

人文学の基礎研究をつなぐために

資料解読：中国絵画史文献など

領域横断的研究：たとえば、「ことばともの」

（ことばとつなぐ）とか